

## 道徳教育研究の最前線

# 麗澤大学大学院学校教育研究科 道徳教育専攻の挑戦

麗澤大学大学院学校教育研究科 准教授 江島 顕一

### 道徳教育をめぐる動向

#### 日本初の道徳教育大学院

①道徳教育及び道徳科のよりよい在り方を探求する人材

②道徳教育を通じて学校の教育力を高めることができる人材

二〇一五（平成二十七）年に成立した「特別の教科 道徳」

も全面実施を迎えて数年が経ちました。成立前後に活況を呈した道徳教育研究も一段落した感があります（こうした現況は「アフター道徳バブル」とも形容されています）。もつとも、その後のコロナ禍により、学校教育は大きな変革を迫られました。

G I G A スクール構想が推し進められる中で、道徳科における次なる課題は他教科と同様に I C T の活用に焦点が当てられています。さらには、成立当初より課題とされた評価、対話、教材などについても引き続き研究課題とされていっているところです。

奇しくもこうした教育動向の一方で、二〇一八（平成三十）年四月に、麗澤大学に学校教育研究科道徳教育専攻が開設されました。本研究科は、創立者廣池千九郎の生誕一五〇周年記念事業の一環として誕生した日本初の道徳教育に特化した大学院です。

本稿では、本研究科のねらいや特色、そして本研究科で学ぶ院生の取り組みなど、本研究科の研究と教育の現在について紹介します。

A 道徳教育の本質に関する科目

B 道徳教育法及び道徳科教育法に関する科目

C 各教育段階における道徳教育の在り方に関する科目

D 各教科における道徳教育の指導に関する科目

E 道徳教育及び道徳科の実習に関する科目

F 修士論文の指導に関する科目（特別研究）

■実習科目

■特別研究

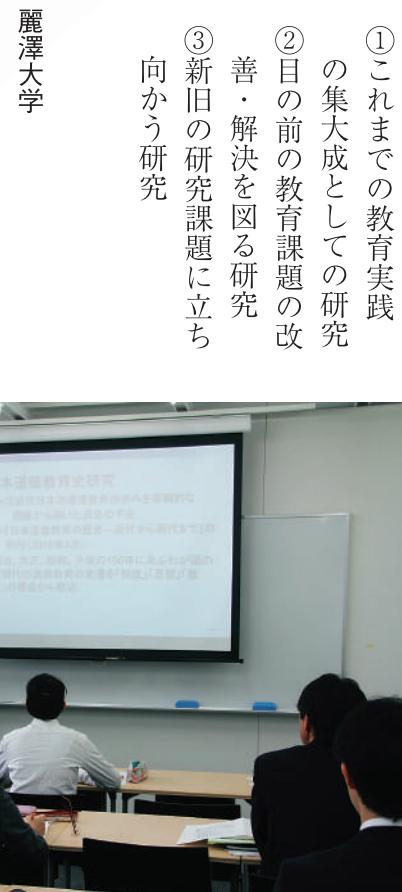
以上のような教育理念と教育課程を有する本研究科の最大の特色は、現職教員として在職のまま修学と修了が可能になつてゐる点です。大学院設置基準一四条による教育方法の特例により、土曜日開講の通常授業と長期休暇中の集中講義で修了ができます。これまでに二十三名が入学しましたが、このうち現職教員は九割以上です。ほとんどの院生が、平日は現場の教員として務め、週末の土曜日に院生として学んでいます。

本研究科は、道徳教育の専門研究者・教育者の養成を目的とし、具体的には次の3つの人材の育成を目指しています。

## 院生の道徳教育研究

これまでに本研究科を修了した十六名が、どのような動機で入学し、そしてどのような研究に取り組んだのかを振り返ってみます。本研究科の院生の研究の在り方は、大まかにいえば次の三つに分類されます。

- ①これまでの教育実践の集大成としての研究
- ②目の前の教育課題の改善・解決を図る研究
- ③新旧の研究課題に立ち向かう研究



授業風景

①は、現場での長年の実践を学問的にまとめたいという院生です。実践の蓄積を個人の経験にとどめるのではなく、それを大学院での学びから理論的に裏付け、自らの教員生活の集大成とするなどを目指しています。こうした研究の中には、校長をはじめとする様々な管理職経験を活かした研究があります。

②は、日々の現場において直面している課題を乗り越えたいという院生です。特に実際的な指導方法（例えば話し合いなど）の言語活動）の工夫を追求しています。大学院での学びを踏まえて仮説を立て、それに基づく実践を行って検証する（そしてそれを繰り返す）という地道かつ着実な研究です。

③は、道徳教育をめぐる新旧の研究課題に立ち向かいたいという院生です。他教科との接続、地域教材の開発といった旧来からの課題や、防災、自己肯定感といった今日的な課題との関連に対して新たな知見を提示することを試みています。院生個々の専門性やキャリアを活かしたオリジナリティある研究です。

## 本研究科の今後

本研究科では今後も多様な働き方と問題に関心を持つ院生に応えています。例えば、これまで静岡県や長野県から入学

した院生がいましたが、オンライン教育によって対応してきました。道徳教育を本気で研究したい現場教員を全国から迎えるべく、教育環境の整備拡充を図っています。そしてわが国の道徳教育研究の最前線を切り開いていく人材を育成していきます。「本研究科の強みは院生である」。これを本研究科の伝統にすべく、本研究科の挑戦はこれからも続きます。

本研究科の情報については、本研究科のHPをご覧ください。[ac.jp/se/](https://gs.reitaku-u.ac.jp/se/)

本研究科の説明会（オンライン）は、今年度は次の日程で行います。参加申し込みについてはHPをご覧ください。

- |              |              |          |
|--------------|--------------|----------|
| ① 8月21日      | ② 9月4日       | ③ 12月11日 |
| ④ 2023年1月22日 | ⑤ 2023年1月29日 |          |